

フレッシュな２人の選手宣誓

しかま議会だより

第98号
令和8年11月13日発行

7月・9月会議

令和７年度決算のあらまし……３Ｐ
決算認定審査全員特別委員会……５Ｐ
一般質問（５名）……９Ｐ
委員会活動レポート……15Ｐ
New Voice・編集後記 ……16Ｐ

発行住所：宮城県加美郡色麻町四竈字北谷地41番地　TEL：0229(65)2157　Eメール／ gikai@town.shikama.miyagi.jp

51億6,751万2千円

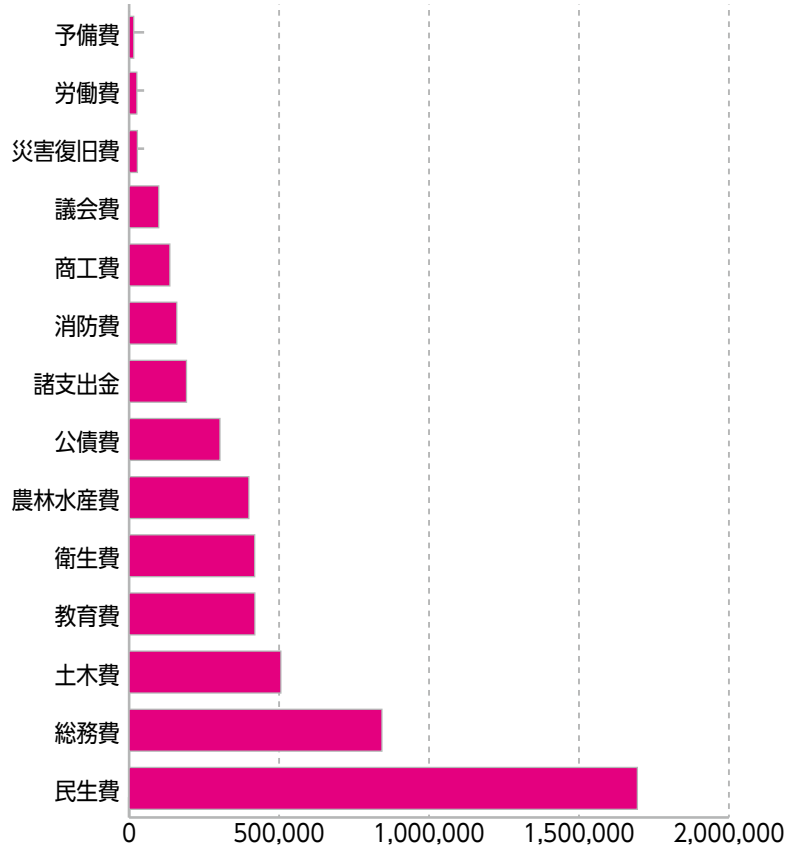
決算審査 9月 歳出

前年度より 753万1,474円 減

令和7年度一般会計決算額（歳出）

（単位:千円）

予備費	0
労働費	10
災害復旧費	14
議会費	98,796
商工費	135,720
消防費	158,914
諸支出金	191,260
公債費	302,828
農林水産費	399,200
衛生費	418,633
教育費	419,190
土木費	505,883
総務費	842,367
民生費	1,694,697
合計	5,167,512



町の借金と貯金

令和8年3月31日現在
※人口5,951人

町債　50億1,947万円

（町民一人あたり84万3,000円）

基金　13億3,144万円

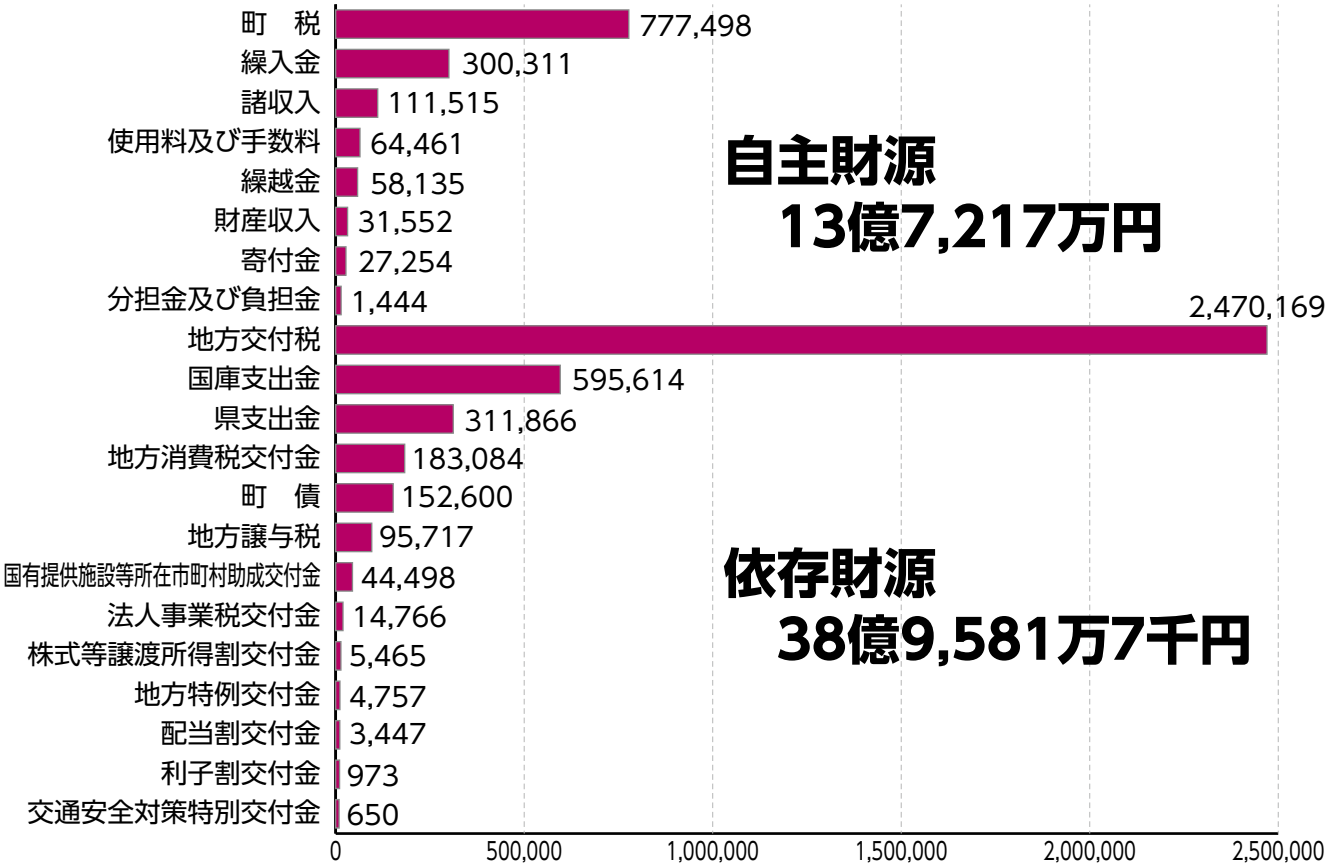
（町民一人あたり22万4,000円）

令和7年度
一般会計
歳入

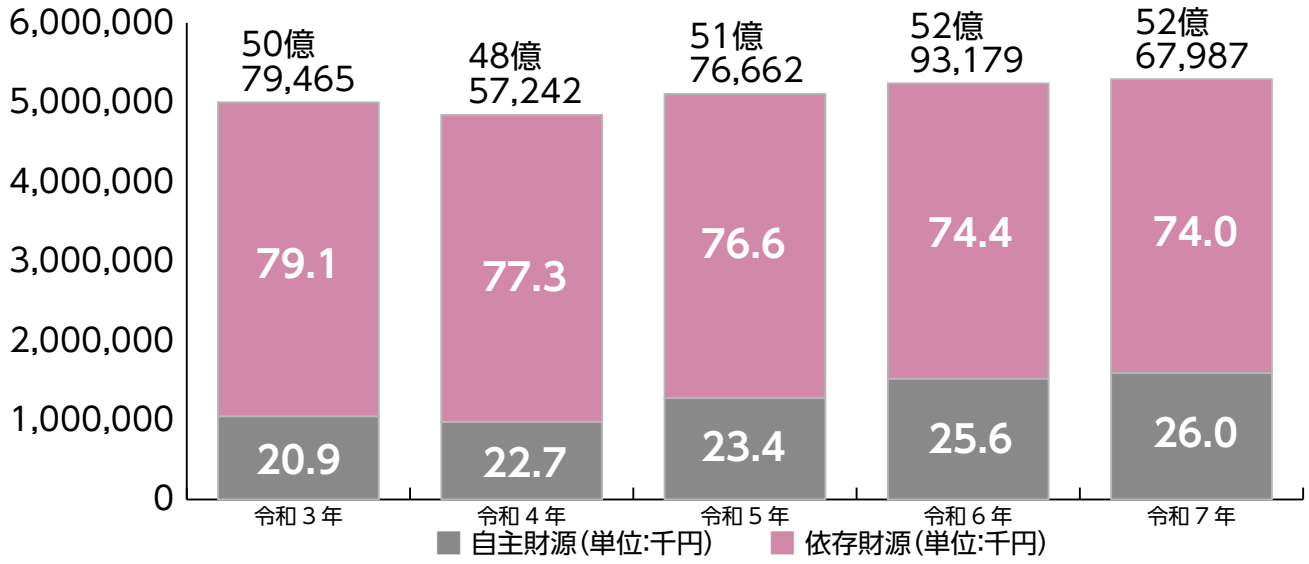
52億6,798万7千円

前年度より 2,519万2,289円 減

令和7年度一般会計決算額（歳入）（単位:千円）



5年間の一般会計予算の推移と財源比較（単位:千円）



監査報告



代表監査委員
早坂　仁一

監査に付された各種会計歳入歳出決算について
(1)決算の計数は正確であるか
(2)予算の執行が適正に行われたか
(3)財政運営が健全であったか
などの主眼を置き、審査を行った。

審査の結果

内容及び状況は全般的に適正妥当と認めた。

決算の意見として

令和7年度の各種会計の予算執行は、概ね適正なものと認められる。

令和7年度 特別会計&企業会計決算 （単位:万円）

【各種特別会計決算】	歳入総額	歳出総額	差引差額
奨学資金貸付基金特別会計	1,255	1,248	7
工業団地整備事業特別会計	1,451	1,441	10
国民健康保険事業特別会計	7億9,233	7億3,815	5,418
後期高齢者医療特別会計	1億1,559	1億1,396	163
介護保険特別会計	9億1,621	8億8,809	2,812
介護サービス事業特別会計	633	580	53
【企業会計決算】	歳入総額	歳出総額	差引差額
下水道事業会計	3億7,502	3億5,432	2,070
水道事業会計	2億　523	1億7,066	3,457

令和7年度　色麻町財政の健全化判断基準比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
－ %	－ %	11.2%	68.8%
(15.0%)	(20.0%)	(25.0%)	(350.0%)

※（　　）は早期健全化比率です。我が町の比率は問題はありませんでした。

決算認定審査全員特別委員会



相原和洋委員長



髙森すみえ副委員長

委員会調査結果報告

1、審査の結果

令和7年度色麻町一般会計決算並びに他8会計決算は原案のとおり認定すべきものと決しました。

2、まとめ

財政力が低い中で、いかに自主財源の確保、各事業の効率化、財政計画の検証と合理化など本町の発展と町民生活の安定および福祉向上に向け、より一層の財政運営に努めて頂きたい。

委員長報告

決算審査では各種会計における政策や事業目的がどの程度達成され、事業の成果・効果が町民の福祉向上にどう反映されたかなどの視点に立ち、慎重審議が行われました。

まとめとして、本町の財政力の低さ及び硬直化に陥らない様、自主財源の確保、各事業の効率化、財政計画の検証や合理化など本町の発展と町民生活の安定および福祉向上に向け、引き続き健全化を図ると共に計画的かつ慎重な財政運営に努められることを念願し報告と致します。

総括質疑

一般会計

相原議員

決算は、まちづくりの通信簿とも言われています。町長はこの通信簿において、成果、効果をどのように捉えているのか。また、物品及び人件費、役務費等々が前年度に比べ高くなっているが、町長はどのように考えているのか。

町長

審議いただいた予算については、結果を出したものだと思っていますし、町民の方に対してもプラス効果になっていると思っています。また、経常費関係が高くなっていることについては、年々高くなりつつありますが、経常収支比率は、県内では低い方ですので努力をしていると思っています。



水道事業会計

今野議員

有収率65・3％になっているが、県内の有収率はどのくらいなのか。また、有収率の改善方法は。

鎌田建設水道課長

県内の有収率を見ますと、加美町では79・7％、蔵王町では83・5％となっています。また県の平均は88・4％となっています。改善方法としては、老朽管の更新と漏水調査を併せて行っていくことで有収率の向上に努めていきたいと考えています。

決算審査全員特別委員会 質疑

空き家相談会開催業務委託料
64万1千円

Q 相談内容は。また何件の空き家の解消に繋がったのか。

A 空き家になった時の手続き関係や相続などの相談がありました。また、空き家の解消に繋がったのは1件ありました。



移住イベント
33万円

Q 成果はあったのか。

A 交流フェアや地域おこしフェアなどに出席をし、移住希望者に対し町のPRを行ってきましたが、移住には現在繋がってはおりません。



ぜひ色麻町に

敬老会関係報償費
288万8千円

Q 色麻町のために一生懸命働いてくれた方々のためにも、もっと参加しやすい方法を考えるべきでは。

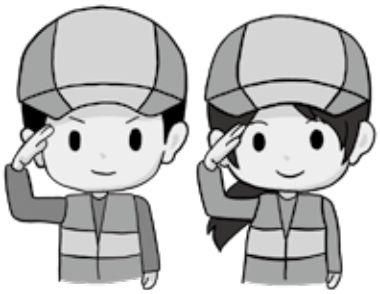
A 今後、検討していきます。


敬老会の参加者

狩猟免許取得等助成事業
13万6千円

Q わな猟免許や第一種銃猟免許を取得するときにどのくらいの金額がかかるのか。

A わな猟免許で約1万6千円、第一種銃猟免許で約8万円で取得できます。また、助成金額内で取得できる状況です。



高齢者等タクシー利用助成事業（障害者分）
4万7千円

Q 利用している方が少ないが周知の仕方に問題はないのか。

A 広報で2回、ホームページにも掲載しておりますし、窓口でもサービスを御紹介して周知をしています。


タクシーも待っているよ

高齢者等タクシー利用助成事業（高齢者分）
119万7千円

Q 交付者が84名で交付枚数が3，668枚、使用枚数が2，394枚となっているが、使用しない理由は。

A 84名の交付者の中で、全く使われなかった方が20名おりましたし、要因は様々あると認識しています。

交付No.〇〇－〇〇

色麻町高齢者等タクシー利用助成券

有効期限	令和 〇年 〇月〇〇日	利用年月日	令和　年　月　日
助成額	500円（おつりは出ません）	利用者氏名（自署してください）	

指定事業者名　□ 有限会社　四釜タクシー
□ 有限会社　中新田タクシー
□ 有限会社　加美交通　　色麻町長　印

もっと利用してほしい助成券

町農作物病害防除協議会
216万3千円

Q　昨年度より約50万円高くなった理由は。

A　熊の大量出没により補助金が増額になりました。



マルシェ開催運営業務委託料
179万3千円

Q　マルシェが4回開催されたが、全体の総売上げと来場者数は。

A　総売上げは、292万5千円で来場者数は2，150名です。



人気イベントのマルシェ

スクールソーシャルワーカー謝礼
142万円

Q　相談件数と相談内容は。

A　相談件数は全体で151件で、児童・生徒からは24件、先生からは情報共有という形で110件、保護者からは17件です。一番多かった相談は、不登校に関するものでした。



えごま栽培推進事業
914万5千円

Q　作付者の人数と面積は。

A　作付者の人数は34の経営体で、面積は24・4ヘクタールです。



えごまの刈り取り

全国大会出場
29万9千円

Q　全国大会での結果は。

A　エンジョイ・軟式野球フェスティバル2025で優勝、第5回全日本軟式野球大会で準優勝、文部科学大臣杯で2回戦敗退、リトルシニア全国選抜大会で1回戦敗退という結果です。



指定管理料
5，900万円

Q　指定管理料を含めて、今後の運営の在り方は。

A　年間14万5千人の交流人口を創出している平沢交流センターです。これまでどおり交流を深めていただくよう、担当課としても鋭意努力をしていきます。



みんな大好き かっぱの湯

補正予算

令和8年度　一般会計

令和8年 9月会議

9月4日提出分

3億832万5千円を追加し

50億8,122万円に

主な補正金額

歳入		
	地方特例交付金	8,319千円増
	地方交付税	72,181千円増
	民生費国庫負担金	800千円増
	※障害者自立支援給付費負担金	
	民生費県負担金	400千円増
	指定寄付金	4,098千円増
	※企業版・ふるさと納税寄付金	
	各種特別会計繰入金	5,094千円増
	財政調整基金繰入金	211,000千円増
	繰越金	4,423千円増
	雑入	2,010千円増
	歳入合計	3億832万5千円増

歳出		
	総務管理費	3,599千円増
	社会福祉費	240,636千円増
	※郡保健医療福祉行政事務組合等	
	農業費	800千円増
	※農村環境改善センター工事費等	
	商工費(平沢交流センター管理費)	3,135千円増
	道路橋梁費	62,308千円増
	※除雪車両借上料等	
	消防費	187千円増
	保健体育費	▲7,572千円減
	公債費	5,099千円増
	予備費	133千円増
	歳出合計	3億832万5千円増

令和8年 7月会議

7月21日提出分

1,161万5千円を追加し

47億7,289万5千円に

歳出

民生費の児童福祉総務費

※新生児特別定額給付金　**250万円増**



一般質問

町政を問う



5人の議員が問う



❶ 髙森すみえ議員……10P

①子育て世帯の経済的負担軽減について
②地域を支える人材の負担軽減について

❷ 河野　諭議員……11P

①指定避難所と教育施設のエアコン整備について

❸ 佐藤　忍議員……12P

①少子化対策について
②住みたくなる町ベスト１になる為の移住定住策について

❹ 工藤　昭憲議員……13P

①熊等の緊急銃猟について

❺ 白井　幸吉議員……14P

①農業の現状に対する対応策について



「議会だより」に掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、質問を要約し掲載しています。詳細については色麻町議会ホームページに載せている会議録をご覧になるか、議会事務局にある会議録を閲覧ください。

Q 通学用カバンの無償化を
A 考えていません



髙森すみえ議員

髙森　色麻学園1年生～6年生の通学用カバンを、7年生～9年生が使用しているものと類似した町指定のカバンに統一する考えはありますか。

大河原教育総務課長　「統一」という考え方自体について検討させていただけたらと思います。

髙森　ランドセルは選ぶ楽しみはあるが、経済的には負担になるように思う。「ランリュック」と呼ばれる布製の通学カバンは価格もかなり安価で、保護者の負担は軽減されると考えるが、どうか。

町長　父兄の皆さんの話を聞きながら、検討します。

髙森　通学用カバンの無償配布の考えはあるか。

町長　考えていません。

髙森　令和8年度から、全国の小学校の給食費は無償化となり、国の交付金が支給される事で、町の負担は軽減されるはず。
令和7年度の決算報告にある給食費軽減事業の財源を使えないか。

町長　親の意見も聞きながら、かつ財政の状況も判断しながら検討するということにさせていただきます。

髙森　ジャージや制服のリサイクルの取り組みを行う考えはあるか。

大河原教育総務課長　令和7年度から、ジャージ、制服、後期用カバンの回収を行って引き渡す会を開催することをしています。回収数が少なかったので希望者への譲渡会はまだ行っていない状況です。
運用面でのルールの未整備もあり、実際の引き渡すような取り組みについては令和8年度以降行っていきたいと考えています。

Q 地域をささえる人材の負担軽減を
A 検討する時期は来る

髙森　色麻町に多数存在する、行政運営に住民の意見を反映させる組織には、重複して選任されている町民が多数いることを町は認識しているか。また、それをどのように受け止めているか。

町長　多様な立場からの参画を例規又は要綱等で定めている委員会もあり、結果として特定の町民の方が複数の委員に選任される状況になっていると認識しています。
しかしながら、全ての委員会等は、本町の円滑な町政運営及び持続可能な行政運営において、それぞれに必要不可欠な組織であると考えています。

髙森　町の人口が急速に減少している現実がある。
早急に地域を支える人材の負担を軽減する対策を考えるべきと思うが、これまでに実行してきた対策はあるか。

遠藤総務課長　一、類似する複数の委員会の会議を同日に開催することにより、重複する委員の拘束時間の短縮を行っています。
二、同一の委員会で定例会と研修会などを別日に実施していた場合には、可能な限り同日に開催するように調整し委員の負担軽減に努めています。

髙森　町民のみならず、事務局職員の方々の負担にもなっていると感じる。
どちらにとっても負担が少なくなるようなやり方を検討していただきたい。

町長　将来は今のままで続けられるかと言えば、そういうわけにもいかなくなるので、検討する時期が来ると思います。



河野　　論議員

Q 各施設に移動式エアコンを
A 前向きに検討します

河野

熊本県で地震があり、多くの人が、指定避難所に避難しましたが、ほとんどの所でエアコンが整備されていないと報道していました。その中で本町においては、災害時の指定避難所は何箇所あるのか。また、熱中症対策は万全なのか。

町長

20施設を指定避難所に指定しています。また、冷暖房等の空調設備が整備されている施設は17箇所で、熱中症対策に考慮した避難所運営は可能です。空調設備が整備されていない町民体育館、町民小体育館及び町民清水体育館の3つの施設や、色麻学園講堂に避難所を開設し運営する際は、スポットクーラーや扇風機を活用して熱中症対策を講じることとしています。

河野

体育館や武道館での体育の授業や部活動の熱中症対策はどのようにしているのか。

大河原教育総務課長

同様にスポットクーラーと扇風機を併用し、熱中症対策を行っております。

河野

スポットクーラーと扇風機では熱中症対策は不十分です。国では、2035年までに、公立小中学校の体育館への冷房設置率を100%にする目標を掲げているが、本町は2035年までに学校体育館にエアコンを整備する考えはあるか。

町長

体育館全体を冷やす工アコンとなると、まだそこまでの想定はしていません。

河野

エアコンを整備する場合、費用はどのくらいなのか。

大河原教育総務課長

色麻学園の小講堂で約8，550万円、中講堂で約1億5，300万円、武道館で約4，800万円となる見込みです。

河野

新潟県燕(つばめ)市では、小中学校や幼稚園などの普通教室へのエアコン整備でクラウドファンディングを立ち上げ10億円集めているが、本町ではこのような考えはないのか。

大河原教育総務課長

現状において、同様の取組を行う計画はございません。

河野

エアコンを整備できない場合、移動式エアコンが、熱中症対策として良いと思うが各施設に設置する考えはないか。

町長

町の懐具合もありますが前向きに検討します。



熱中症対策で期待できる移動式エアコン

Q 少子化対策の効果と方向性は

A 令和8年度は出生数が増加の見込み



佐藤　忍議員

佐藤　昨年度の町内の出生数と死亡者数、合計特殊出生率は。

町長　令和7年度の本町の出生数は20人、死亡者数は97人で、平成30年から令和4年までの5年間の合計特殊出生率は1・33となっている。

佐藤　今までに様々な少子化対策を行っていますが、その効果と今後の方向性は。

但馬子育て支援課長　政府が閣議決定している未来戦略や加速化プランに定められた事業と、町独自の事業を組み合わせて少子化対策を進めており、令和8年度は7年度より出生者数が増加すると見込んでいる。

佐藤　人口の奪い合いになっている中、長期的な確実性のある対策は。

今野企画財政課長　今までの取組をもとに情勢の変化やニーズを汲み取り、本町の規模や地域性に合った持続可能な施策を検討していく。

　一朝一夕の成果を追うのではなく、長期総合計画の重点プロジェクトに掲げた事業を一つ一つ地道に遂行していく。



視察した長野県宮田村

Q 住みたくなる町全国1位を

A 効果的なPR手法を研究していく

佐藤　住みたい田舎（村の部）で全国1位となった、長野県の宮田村を視察してきたが、その年に生まれた子が、40人位とすると小学校に入学する頃には70人に増えているとのことでした。

　色麻も景観の良い高台に移住定住地をもうけることで、呼び込めるのでは。

町長　景観の良い高台となれば、愛宕山から南の方となり、遠くまで一望できる自慢の所です。

　ですが、現状の町の財政の中で造成した時に、どうなのかとなります。財政を考えない訳にはいかない。ただ、宅地分譲地を準備するという意識はしている。

佐藤　宮田村の移住定住ポイントの一つに、生活圏半径2・5㎞のコンパクトビレッジがありますが、色麻も2~3カ所の拠点をつくることで似た環境を作れるのでは。

菅原地域振興課長　分散型のアイデアは、生活交通の維持や公共施設のあり方を考えていく色のバランスの中で意義があるが、現実的に進めていけるのかを検討していきたい。



工藤　昭憲議員

Q 緊急銃猟の体制は
A 人員的には整っています

工藤
熊等の銃猟の現状と課題は。

町長
銃猟を実施するのは、鳥獣被害対策実施隊となります。
隊員は21名おり、第一種猟銃免許取得者は13人で、若手の隊員もおり人員は整っていると考えています。
しかしながら、熊へ発砲した事のない隊員もおります。

工藤
緊急銃猟の体制はどのようになっているか。

浅野農林課長
緊急銃猟に係るマニュアルを作製し、実施隊、警察署とも共有していま す。
体制は、人員的には整っていると思います。
緊急銃猟実施においては、県や警察との連携も必要になりますので、8月3日に関係機関と共に伝習館敷地内において実地訓練を行いました。

工藤
緊急銃猟が必要な状況と行える条件は。

浅野農林課長
市町村長の判断と責任において実施できる「緊急銃猟制度」が創設され、緊急銃猟が必要な状況は、人の日常生活圏に侵入し、人身被害防止のため緊急対応が必要な場合となり、条件は4つあります。
①人の日常生活圏への侵入やその恐れがあること
②生命や身体に対し、危害を防止する措置が緊急に必要であること
③銃猟以外の方法では的確かつ迅速に捕獲をすることが困難なこと
④避難によって地域住民等に弾丸が到達する恐れがないこと
以上の4つの条件がすべてそろった場合に緊急銃猟が出来ます。

工藤
麻酔銃による銃猟も有効のようですが、その対策と体制は出来ているか。

浅野農林課長
県内でも有資格者が数人しかおらず、迅速な対応が出来ないことが想定されます。
緊急銃猟の目的は、人の生活圏内に侵入した熊等を的確かつ迅速に捕獲する必要がある場合に発令されますので、基本的に緊急銃猟は猟銃の使用を前提としており、麻酔銃による緊急銃猟の体制は、予算措置も含め考慮していません。

工藤
麻酔銃による緊急銃猟の課題は。

浅野農林課長
有資格者が県内でも数人しかおらず、依頼した際に迅速に対応できないことが想定されます。

工藤
緊急銃猟と麻酔銃による銃猟の違いと、それぞれの銃猟の判断と許可は誰がするのか。

浅野農林課長
先ほどの4つの条件が揃えば基本的にはどちらも同じ扱いになります。
それぞれの銃猟の判断と許可は、町長がします。

工藤
人的被害、建物や車両等、その他の損壊への補償（銃弾によるもの、土地への立ち入りによる作物等への被害、障害物除去後の復旧にかかる費用）の補償はどうなるか。

浅野農林課長
けが等の被害は公務災害の適用となり、住民など人的被害は国家賠償法による補償、その他の被害は全国町村会総合賠償保険での補償となります。



Q 農業問題の解決策は省力化では
A 効果的な支援を模索します



白井　幸吉議員

白井　農業は高齢化と後継者不足、資材高騰、米価変動での収入の不安定等の問題に直面している。
農家の収益向上のための施策の考えは。

浅野農林課長　有機資材の施用、高収益作物への転換、飼料用米等での産地交付金制度の活用が有効と考えます。

白井　備蓄米の早急な買戻しで、米価下落の下支えになるよう要請すべきでは。

町長　県選出国会議員との意見交換の席で、備蓄米買戻しの話題になった際、2万円台の米価になる様、話を行っています。

白井　40箇所程あるミニライスセンターは40数年経過し、老朽化が著しい。
維持管理に対して手当も含めての考えは。

町長　具体的な予算措置は考えていません。
今後、農協と相談する必要もあるが、将来は町内にライスセンターが必要と考える。

白井　多くの農業問題の解決策となり得るのは、農作業の省力化と考えるが。

浅野農林課長　乾田直播の普及促進や、農業用ドローンの研修会を実施しています。
今後も高齢化等により、一経営体当たりの耕作面積が拡大していくものと考え、効果的な支援を模索していきます。

白井　ドローンの操縦免許取得に助成を検討するとの事だったが。

町長　どの程度補助出来るかわからないが、前向きに考えます。

Q 安心な営農には所得補償が重要では
A 同感であり、要望を行っていきます

白井　令和9年度からの「新しい水田政策の見直し」は、営農計画を大きく左右する内容だ。作付計画に向けて早めの情報提供が必要だ。

浅野農林課長　情報提供に努め、早い段階で周知を図ります。

白井　安心して営農するためには、価格補償や所得補償が重要だと考えるが。

町長　まったく同感で、価格的・所得的に安定することが前提にならないと、農業の存続はあり得ないので、要望を行っていきます。



老朽化が著しいミニライスセンター

委員会活動 Report レポート

総務教育常任委員会

委員長　相原和洋

1．調査期日
令和8年7月15日～16日

2．調査内容
石川県宝達志水町
学力向上対策について

3．視察内容
文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査において、全国でもトップクラスの成績を維持している子どもたちの学力向上に向けた、取組や教育環境の改善等合わせ調査しました。

4．まとめ
今回の調査を通じて、これからの時代に必要な資質・能力の育成、認知機能および非認知能力の両軸の推進と育成を、科学的根拠に基づく教育の推進の重要性と、今後益々少子化が進行する中で、学ぶ意欲とやる気にさせる教育の在り方について再認識した上で、調査報告と致します。


石川県宝達志水町

産業民生常任委員会

委員長　佐藤忍

1、調査期日
令和8年7月9～10日

2、調査事項
①埼玉県　農研機構
・最新の農業機械研究所の視察
②長野県宮田村
・宮田村の移住定住支援、子育て支援について

3、まとめ
①の農研機構（農業機械研究部門）では、役割として「農作業のスマート化による生産性向上、環境負荷低減と安全性の強化」の為の農業機械の普及に貢献しているとのことでした。
②の宮田村では、「住みたい田舎ベストランキング村の部」で全国第一位に選ばれた理由について、コンパクトな環境（生活圏半径2・5㎞）・手厚い子育て支援・田舎過ぎず自然に近い・相談体制の充実等があげられましたですが、狭い環境が逆に住宅事情を悪くしているとのことでした。
また、小中学校に入学する子ども達を、村民全員でお祝いする目的の「小中学校通学鞄支給事業」と、母子の精神的肉体的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境整備を図る為の「ママサポート事業」等は、大変興味深く意見交換をおこないました。
今回の調査により、色麻の弱点や優位な点が垣間見られ、これらを今後の事業に活かしていきたいとの思いを、強くいたしました。


最新の農業機械展示室前

New Voice

硬式野球で東北大会出場



向町地区
浅野（あさの）　琉夢（りむ）さん
色麻学園9年生

私は、宮城北部リトルシニアに所属しています。このチームは、創立30年目の歴史のあるチームです。多くの全国大会に出場しており、数々の栄光を掴んできています。そのため、練習が厳しく、とても大変です。

私は、小学一年生から兄の影響で野球を始めました。入団当初は、チームの人数も多く、試合に出ることも厳しかったり、野球の難しさに驚くことも多々ありました。学年も上がるにつれ、試合に出れるようになり、小学6年生の時は、主将を務めました。主将になり大勢をひとつにまとめる難しさや一人一人に掛ける声掛けに悩みました。

中学生になり、硬式のボールとなり、色々と衝撃を受けました。ボールが変わり対応が難しくエラーをしたり、打てなかったりと苦労をしました。情けなくその度に悔しい気持ちになりました。それでも、試合で活躍したい、結果を出したい、その一心で練習に打ち込みました。キツく大変な冬の練習を乗り越え、迎えた春季大会。二回戦で強豪相手に惜敗してしまいましたが、次の試合を勝利し、東北大会の出場を決めました。東北大会は県大会とは凄く難しい試合展開となり負けてしまい、残す試合もわずかとなり迎えた最後の大会は無念の初戦敗退。とても悔しかったです。

今は、高校に向けて日々の練習を頑張っています。大変なこともたくさんありましたが、チームメイトや家族のおかげでここまでやってくることができました。あの時の敗戦を活かして頑張りたいです。高校では、さらに新たな壁にぶつかることもあると思いますが、自分なりに頑張ります。今までの恩返しをプレーで返せるように全力でプレーしたいと思います。今までの経験を力に変えて高校野球に立ち向かいます。

次回の会議は
12月8日㈫です。

議会の様子はパソコン・スマホで、生中継（録画）されております。

編集後記

秋雨前線の影響で曇りや雨が続き、稲の収穫が遅れている今日この頃です。

定例会9月会議が9月4日から9月11日で終了しました。一般質問は5名であり、傍聴者が見守る中、内容は充実した質問でした。

令和7年度の各種会計決算認定審査特別委員会委員長に、相原和洋委員が選出され、副委員長に高森すみえ委員が選出されました。

又、代表監査委員から、令和7年度の各種会計決算認定は概ね妥当であると報告を受けました。基本的には少ない経費で最大の効果を得る事です。

会期を残し前例にない早さで9月会議が終了しました。

文責　山田康雄

議会広報常任委員会

議長　中山哲
委員長　山田康雄
副委員長　河野論
委員　佐藤忍
委員　小松栄喜
委員　相原和洋
委員　天野秀実